

第四回 岐阜広域合併協議会開催

新市の名称が「岐阜市」と決まりました。

第四回岐阜広域合併協議会が七月二十八日、長良川国
際会議場で開催され、「新市の名称」「乳幼児医療費助成」
などの協議が行われました。

承認された事項

- ・新市の名称について
- ・事務組織および機構の取り扱いについて
- ・使用料・手数料の取り扱いについて
- ・障害者福祉事業について
- ・一部事務組合等の取り扱いについて

継続協議となった事項

- ・介護保険事業について
- ・児童福祉事業について
- ・その他福祉事業について

これらの協議の内容については、今月号の広報紙とともにお届けした「岐阜広域合併協議会だより第四号」に掲載しておりますのでご覧ください。

十五歳までの医療費無料化について

これから継続して協議していく事項のなかに、乳幼児医療費助成制度についての協議があります。

この制度は、いわゆる十五歳まで医療費無料といわれるもので、今後の老人福祉を支える若い世代の転入・定住を期待して、子どもをもつ親への配慮と地域の将来を担う子どもを安心して産み育てられるよう、子育て支援策の一環として全国に先駆け実施してきた事業であります。これにより、町の人口が減少から増加に転じたことの結果がうかがうことができ、また、この制度の行方は町民の関心事でもあり、存続を望む声が多くあります。

協議会での笠松町の主張

- ・これからの都市間競争に勝ち抜くためには、次代を担う世代を対象とした施策にメリハリをつけることは大切である。
- ・人口推計を見ても減少は避けられないので、十五歳までの制度を主張する。
- ・少子化は深刻な問題であり、医療費助成制度を新市の目玉として取り組めば、五十四万人の市民にも喜んでもらえるはず。
- ・十五歳医療費無料化は母親の最大の関心事であり、人口増加への貢献とともに、安心して子育てができるという新市のキャッチフレーズを全国発信できるのでないか。

医療費無料化についての合併協議は、新市の財政に対する影響、その他の子育て支援策、教育問題などさまざまな角度から検討し、さらに進む少子高齢社会時代に対応すべく適切な制度を構築していかなければなりません。

乳幼児医療費助成制度の状況

	通 院	入 院
現在の調整案	小学校就学前まで	小学校就学前まで
岐 阜 市	3歳誕生日まで	小学校就学前まで
羽 島 市	5歳誕生日まで	6歳誕生日まで
柳 津 町	義務教育終了まで	義務教育終了まで
笠 松 町	義務教育終了まで	義務教育終了まで
北 方 町	3歳誕生日まで	5歳誕生日まで
岐 南 町	小学校就学前まで	小学校就学前まで

